

ブナ林の保護を そして観光への活用を



別府 静春議員

別府 静春議員 紫尾山頂のブナ林は、日本の南限としての貴重な資源であることから、鹿児島大学で調査がなされた。それによると、後継樹としての二、三年生から数十年生の樹が見受けられないという。白神山地のブナ林が「世界自然遺産」に登録されてから、ブナの新芽、花、紅葉を見たという問い合わせも多いうだ。森林管理署と協議して、保護するとともに観光資源として活かせないか。

国民共通の財産

北村町長 紫尾山頂のブナ林は、我が国の南限であるブナ等の遺伝資源保存のため、「林木遺伝資源保存林」に指定されている。国民共通の大切な財産であり、森林管理署と連携し保護とともに、観光への活用についても努力したい。

北薩広域公園内に ブナ林を

別府議員 ブナが、花をつけるには五〇年以上、実をつけるには八〇年以上が必要と言われている。後継樹を育てるのは難しくないが、紫尾山頂のブナ林は、「遺伝資源保存林」になっていることから、手をつけられない。



紫尾山頂付近のブナの巨木

種の保全を図るため、北薩広域公園内にブナを植栽し、観光にも役立てる考えはないか。

種の保全に 努力したい

町長 北薩広域公園内の樹木植栽には、制約もある。

り難しいと思われるが、種の保全は大事なことから、今後、公園側とも協議していきたい。

「宮之城祁答院線」 の改良見通しは

別府議員 船木旭地区を

通る県道「宮之城祁答院線」の未改良部分整備計画について、二年前に質問をしたが、そのときには、平成十七年度から十九年度にかけて、整備されるとの答弁であった。今後の事業の見通しは、どうか。

早期整備に 努力したい

町長 地域においても、改良促進を要望する手づくり看板等を設置するなど、早期完成に対する大きな熱意は、十分にわかつています。

県では、平成十七年度からの整備計画であるようだが、現在のところ、不透明な状況のようである。

今後、未改良部分の早期整備に向けて、最大限の努力をしていきたい。